

国立大学法人香川大学国際希少糖研究教育機構助教(酵素) 募集要項

募集の背景

香川大学では、国際希少糖研究教育機構担当で任期5年のテニュアトラック制ポストの助教を公募します。本学の強みである希少糖を始めとする研究資産を活用した応用技術の国際的な教育研究拠点を形成し、国際社会に貢献するとともに、地域振興に資するため、平成28年度に国際希少糖研究教育機構を新規設置します。本機構における希少糖生産研究の強化のため、希少糖生産酵素を選抜・精製し、特定の希少糖の大量生産と、少量でも多種類の希少糖を生産する技術開発の一層の進展に向けて、5年任期のテニュアトラック助教を新規採用します。

採用された研究者は、整備された環境のもとに研究と教育を推進する経験を重ねた後に、教育職員としての適性について公正・厳格な審査を受けます。テニュアトラック期間内に所定の業績を上げ、適正があると判断された場合には、任期の定めのない常勤の教育職員としての身分（テニュア）として本学の講師または准教授に採用される予定です。なお、テニュアトラック制の詳細については、『香川大学教員のテニュアトラック制に関する規程』（http://www.kagawa-u.ac.jp/somu/kisoku/reiki_honbun/x872RG00000690.html）をご参照ください。

採用された研究者は、独立した研究室の使用が認められ、研究立ち上げのスタートアップ資金などの援助が提供され、更に、授業および会議などの業務が常勤教育職員より軽減されます。国際希少糖研究教育機構の中で、希少糖生産部門における関連研究を進める機構教員との共同研究プロジェクトとして、新規採用するそれぞれのテニュアトラック教員が若手研究責任者という立場で研究を推進し、その中でテニュアトラック教員1人当たり複数名が研究支援・メンターを行います。

*用語提議 「若手研究責任者」独立した研究者・教員の初期段階であり、より経験を積んだ者から適切な助言を受けながら、自立的な研究環境の中で研究を進める段階にある研究者・教員。 「メンター」若手研究責任者が自立して研究することができるよう、研究室運営のノウハウを習得させ、また、自ら筆頭研究者として外部資金を獲得できるようにするために広範囲の助言等を行う経験や知識のある研究者・教員等。

1. 公募人員 助教1名（任期5年間）

2. 所 属 国際希少糖研究教育機構・農学部応用生物科学科

3. 応募資格

- 1) 博士の学位を有するもの（博士号取得後、10年以内の人）。
- 2) 単糖生産および関連分野の素養をもち、生物、化学の基礎知識を研究に利用し、希少糖生産分野で研究経験がある人。就任後は、希少糖生産酵素の選抜・精製に関する研究に取り組める人。
- 3) 着任後、農学部・農学研究科における関連分野の教育・学生指導にも参加できる人。
- 4) 日本語で教育・研究の指導ができる十分な日本語能力を有すること。

*本ポストは文部科学省平成28年度卓越研究員事業に応募しています。

4. 着任予定時期 平成28年10月1日以降できるだけ早い時期

5. 提出書類

- 1) 履歴書(別紙様式1, 写真貼付) 1部
- 2) 博士の学位証明書(学位記のコピーでも可)
- 3) 研究業績等目録(別紙様式2) 1部
- 4) 研究業績目録に記載された著書、学術論文及びその他の業績等の別刷またはコピー 各1部
- 5) 研究実績の概要(2,000字程度) 1部
- 6) 教育実績(担当・分担授業科目とその簡単な概要など) 1部
- 7) 着任後の香川大学での教育及び研究に関する抱負と将来ビジョンについて(1,500字程度) 1部
- 8) 応募者に関して問い合わせ可能な者2名の氏名、連絡先リスト 1部

注) 最終候補者には、健康診断書を提出していただきます。

原則として提出書類は選考終了後も返却しません。

7. 選考方法

第一次選考: 書類審査。選考終了後、その結果を e-mail でお知らせします

第二次選考: 面接審査。第一次選考を通過した方を対象として9月頃面接を実施します。

面接の日時、内容、方法などは直接本人に通知します。なお、面接のための旅費は応募者でご負担願います。選考終了後、その結果を e-mail でお知らせします

8. 応募締切 平成28年6月30日(木) 必着

9. 応募書類提出先

〒760-8521 香川県高松市幸町1番1号 香川大学
国際希少糖研究教育機構助教(酵素)採用人事選考委員会
委員長 宛

注) 封筒には必ず「国際希少糖研究教育機構助教(酵素)応募書類」と朱書き、配達証明で郵送願います。当方より連絡する場合の宛先、電話番号およびEメールアドレスを明記して下さい。

10. 照会先 香川大学研究協力グループ 電話: 087-832-1341 FAX: 087-832-1319

11. 中間評価・テニユア審査について

採用者は採用後2年経過後に中間評価、5年目にテニユア審査が行われ、合格者は6年目から専任教員として採用されます。中間評価・テニユア審査は、外部委員を含む「選考委員会」により、研究、教育、学部運営及び社会的活動等の活動実績に基づいて行います。具体的な審査内容やその基準は、採用面接時に説明します。